

# 山林の荒廃、親と暮らせない子どもを支える 二つの課題に、一石二鳥の貢献

堀崎 茂さん

東京都八王子市にある荒れた山林を、児童養護施設の子どもたちと一緒に伐り拓く活動を行っている「東京里山開拓団」。活動の内容やその目的を、代表の堀崎茂さんに聞いた。

**仕事だけでいいのか  
1日数十m、  
2年かけ頂上への道開く**

何十年も人が入ることなく、やぶや倒木で鬱蒼としていた山林に、今、子どもたちの元気な声が響く。ここは東京・八王子市。約1.5ヘクタールの里山を舞台に、児童養護施設の子どもたちと一緒に活用しているのが「NPO法人東京里山開拓団」だ。代表の堀崎茂さんは言う。

誰もが四季折々の自然を楽しめる場所になります。だけど、手間がかかることもあり、多くが放置されたままです」

「荒れた山林も、伐り拓くと風が吹き抜けて見晴らしもよくなり、

拓いていきました。進んでも1日数十メートル。2年ほどして、やっと頂上まで道ができて、広場や展望台もできたので、友人や家族を誘って出かけるようになりまし

た」

誰を連れていっても楽しい、また行きたいと喜ばれた。「荒れた山林が里山となってみんなの心をすぐに開いてくれるなら、社会福祉の観点でも活用できるのではと

**単なる遊びより開拓作業に夢中  
児童養護施設の子どもたち  
5年で、延べ200人が参加**

さっそく、数十件の児童養護施設に打診するも、「当時は子どもたちとの活動実績もなかったの

振り返る。しかし、救世軍機息子寮（東京都大田区）の職員が共感してくれ、子どもたちとの開拓が始まった。

安全対策や食材・道具の準備は、社会人、主婦、学生など、20代から40代までの東京里山開拓団の会員（20人）の役割だ。「里山関係の活動グループの多くは年配の方々ががんばっておられるので、うちはあえて若い世代に限定しています」

子どもたちを迎えた第1回の活動日は12年1月のとても寒い日だった。初めて里山の麓にやって来た6人の子どもたちは、ここで何をやるのかと不安そうな顔をしていた。ところが、自分の足で里山に登って、広場のブランコやハンモックに乗り、自分たちで燃した火で食事を作ると、表情が変わった。「帰り際には明るい表情で『また来たい！』と言ってくれました」

以来、月1回のペースで活動が続く。さらに、16年6月からは児童養護施設・調布学園（東京都調布市）の子どもたちも、半年に1回のペースで活動に加わった。17年4月現在、計40回の活動に延べ200人を超える子どもたちが参加している。

里山での活動はじつにさまざま

だ。できるだけ外からものを持ち込まず、自然の恵みを生かした活動をするのがここの掟。お正月には織維が丈夫なツタの茎を木槌で叩いて筆を作り、書き初め大会。目隠してロープ伝いに山に登るゲームは、視覚に頼らないで五感を研ぎ澄ませる時間にもなった。開墾した畑で育てたサツマイモを焼き芋に。タンクで貯めておいた雨水を使った水鉄砲遊び。子ども

の発案で間伐した木でシーズンも作った。拾った焚き木にライター一つで燃すとき火も数回経験すると、お手の物となる。

冬なら、木々や木の実を使ってクリスマスリース作り……と考



「時間はかかって、子どもたちの声を聞きながら一緒に作っていく過程を大切にしています。自分たちで居場所を作り上げる体験や思い出は、生きていく心の支えになると思いますから」



6mの高さがある「ハイジブランコ」

さらに、ここで子どもたちが一度は失ってしまった「ふるさと」を取り戻すことができれば、と話す堀崎さん。1年12回、5年間通えば、60日も里山で過ごした思い出ができる。「いつか大人になった彼らが、ふるさとに戻る感じがこの山に気軽に来てくれたらうれしい」

明。植物や昆虫も含めてたくさん生き物が、四季や植生、ほかの生物たちとの競争など、変化する環境や状況に合わせて生きています。子どもたちは、そういった自然の姿から、どんなことがあってもたくましく生きろ、生き抜くというメッセージをリアルに感じとってくれているかもしれない」

が単独の取り組みでは解決できなくても、「自然の力を活用することで一石二鳥の解決策が見えてくる」と話す堀崎さんは、最後にこうつけ加えた。「この里山を企業向けのメンタル対策プログラムの場としての活用もできないかと思っています。里山は人間が継続的にかかわらないと維持できません。企業とも一緒に里山を活用することで、経済的にも自立して継続運営できるモデルケースを作りたいと思っています」



今年もツリーハウスも手作りする計画も



自動カメラに写ったシカやタヌキ



「これだけ大型の動物が現れるという事は、ここが相当豊かな生態系をもつ場所だということの証

環境保全と社会福祉、それぞれが抱える課題



堀崎茂さん Photo: 横関一浩